

2020年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2020年2月14日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）並びにその子会社及び関連会社（以下SBGと併せて「当社」又は「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、いかなる法域においても、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデル及び戦略の成功、当社グループの事業に影響を与える金融市場及び外国為替の世界的な政治的及び経済的傾向及び変動、当社グループの経営陣の主要メンバーに関する不測の事態、子会社、関連会社及び合併会社に対する当社グループの投資に帰因するリスク、技術及びビジネスモデルの変化に対応する当社グループの能力、競争及び競争的要因、受容可能な条件で十分な資金を保証する当社グループの能力、ソフトバンク・ビジョン・ファンド・エル・ピー及びエスピー・デルタ・ファンド（ジャージー）エル・ピーを含むSBファンド（以下に定義されます。）及びこれらに対する当社グループの投資及びその資産の譲渡に影響を与える要因、当社グループの通信事業（通信ネットワーク容量、他社の管理及び資産への依存並びに電磁波に伴う健康リスクに関する規制の影響を含みます。）に関するリスク、再生可能エネルギー事業に関するリスク、法律、規制及び法制度並びにそれらの違反に起因する行政処分その他命令の変更、会計制度及び税制の変更、当社グループの事業及び投資のグローバル性に起因するカントリーリスク、知的財産に関する問題、情報漏洩及びセキュリティ、人的ミスその他要因によるサービスの停止又は質の低下、自然災害、事故その他予測不可能な事由、米国その他の地域における国家安全保障政策、訴訟、スプリントとTモバイルの合併案に関する問題、並びにその他の要因を含みこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、功績又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、功績又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、功績又は財務状況に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、当社ホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/corp/irinfo/about/risk_factor/）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであると保証するものではなく、実績、業績又は功績は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの業績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものでもありません。当社は、本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引を決定する際に依存してはなりません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在に、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引法（以下「証券取引法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引法ルール12g3-2(b)に従って証券取引法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に記載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を負うものではないことを表明します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社の子会社又は関連会社の証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供のみを目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はソフトバンクグループ株式会社の子会社（以下「SBファンド運用会社」といい、SBインベストメント・アドバイザー（UK）エル・ティー・ディー及びその関連会社を含みます。）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」といい、ソフトバンク・ビジョン・ファンド・エル・ピーを含みます。）のリミテッド・パートナーシップ持分若しくは同等の有限責任持分の売却の申込み若しくは購入の申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依存してはなりません。

疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、SBファンド運用会社により運用される従前のファンドであり、投資家に対して販売されていません。SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮すべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する言及は、それに含まれる範囲で、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明するためだけに述べられたものであり、いずれか特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドの各投資の投資パフォーマンスは異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はソフトバンクグループ株式会社が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

本資料における為替換算レート

期中平均レート	FY18/Q1	FY18/Q2	FY18/Q3	FY18/Q4	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4
1米ドル	108.71	111.55	112.83	110.46	110.00	107.70	108.98	
1英ポンド	147.54	145.84	144.48	143.99	140.88	132.73	139.55	
1人民元	16.97	16.40	16.31	16.37	16.13	15.37	15.46	
期末レート	2018/6月末	2018/9月末	2018/12月末	2019/3月末	2019/6月末	2019/9月末	2019/12月末	2020/3月末
1米ドル				110.99			109.56	
1英ポンド				144.98			143.48	
1人民元				16.47			15.67	

略称について

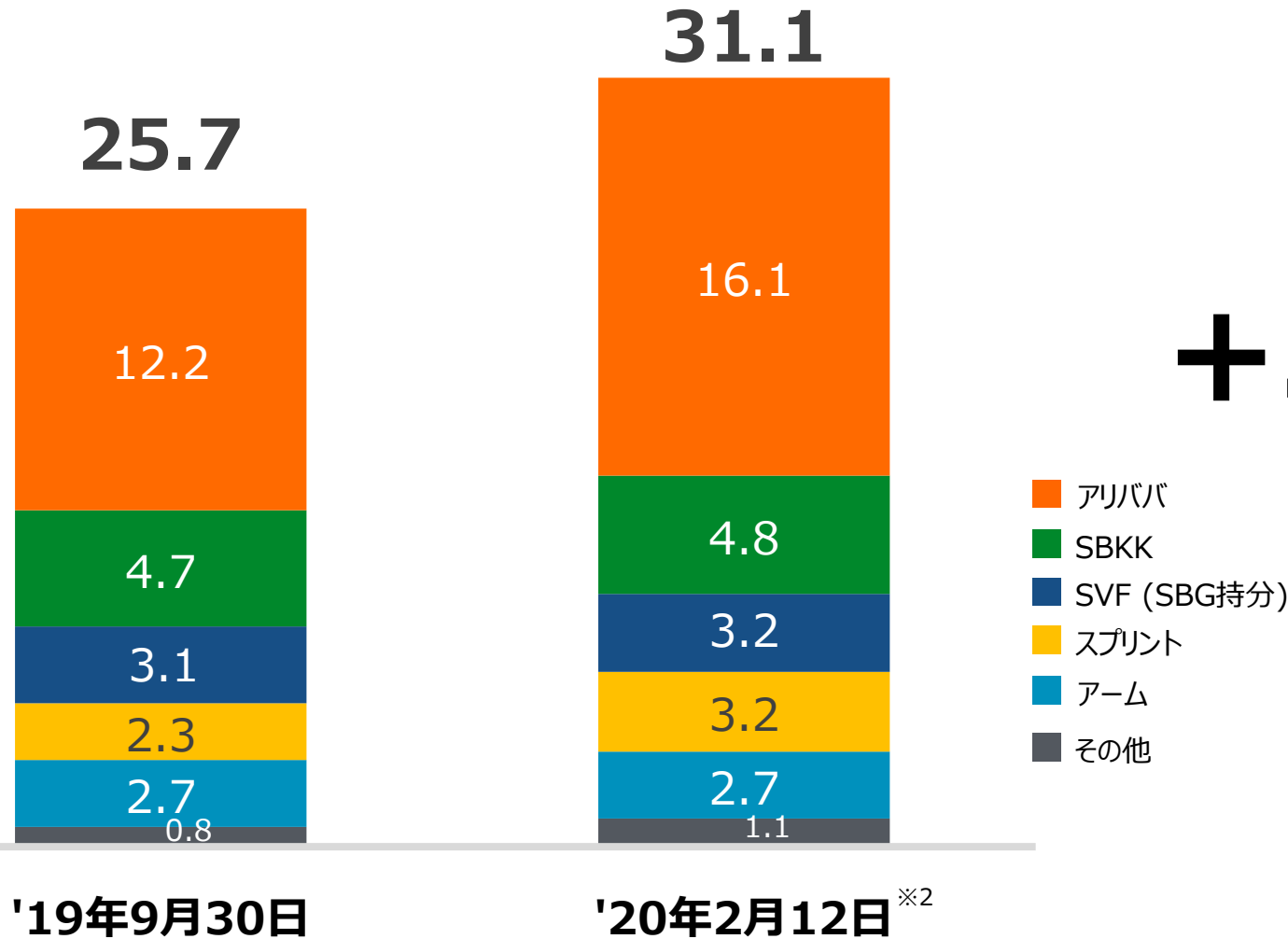
本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株)
SBKK	ソフトバンク(株)
SVF or ソフトバンク・ビジョン・ファンド	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
WeWork	The We Company

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK、スプリント、アーム、SVF、ブライトスター、PayPay、フォートレス、SBIナジー等です

(兆円)



+5.4兆円

- アリババ
- SBKK
- SVF (SBG持分)
- スプリント
- アーム
- その他

※1 保有株式価値は以下の通り算出
 - アリババ: SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出
 - SBKKおよびスプリント: SBGの各社保有株式数に各社株価を乗じて算出
 - アーム: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
 - SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + ジェネラル・パートナーとして当社が受け取る予定の成功報酬の見込金額等
 - その他: 主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出
 ※2 米国市場は2020年2月11日時点

通常時25%未満で運営（異常時でも上限35%）

アセットファイナンス除く

29.9 兆円



保有株式価値^{※2}

4.8 兆円



SBG単体

純有利子負債

LTV 16.1%

(負債カバー^{※1} 6.2倍)

※1 負債カバー = 保有株式価値 ÷ SBG単体純有利子負債

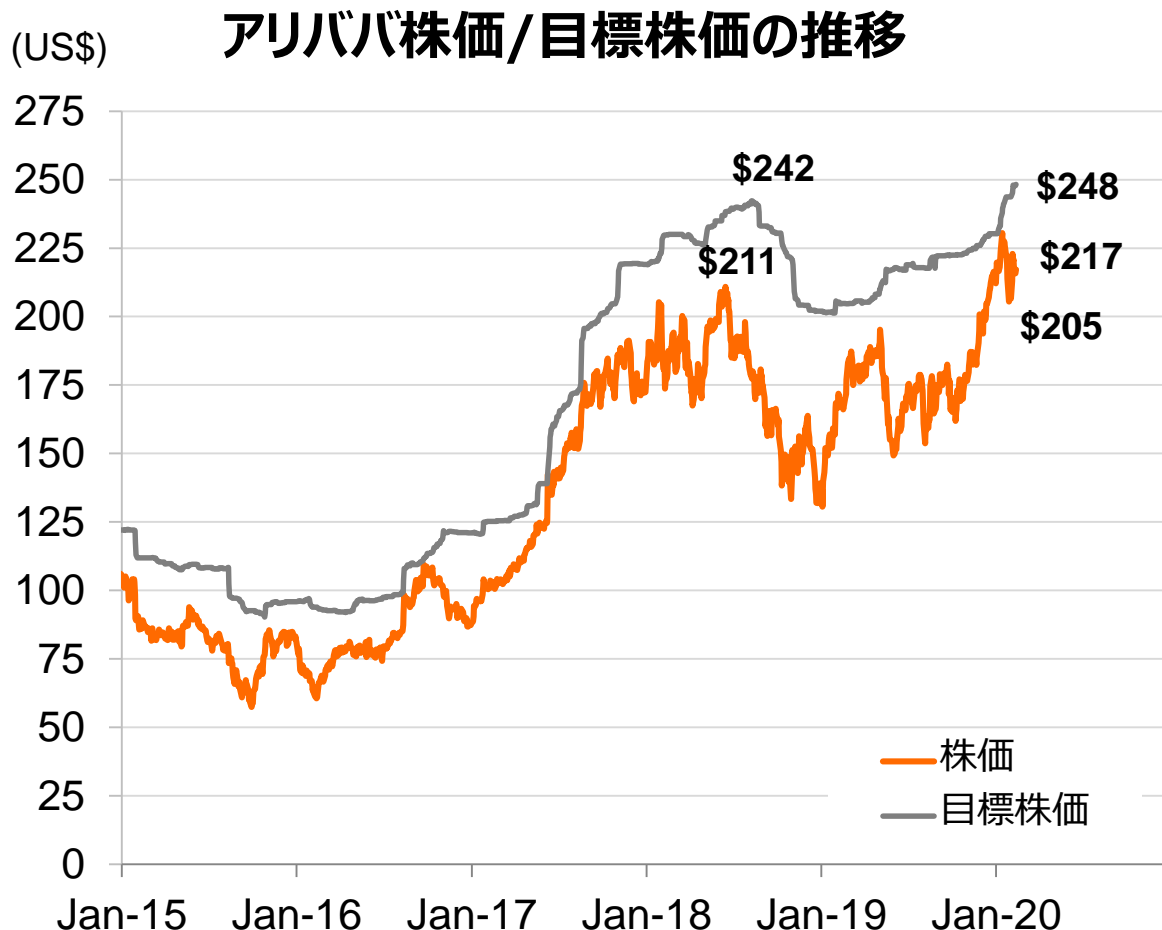
※2 アセットファイナンスの決済に必要な金額(1.2兆円)を控除。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

(\$ mil)	会社名	累計投資額	'19年12月末 累計損益	'20年2月11日 累計損益	'20年2月11日 倍率
	Guardant Health	308	+\$1,863	+\$1,875	7.1 x
	Uber	7,666	-\$1,057	+\$1,505	1.2 x
	Slack	334	+\$489	+\$578	2.7 x
	10x Genomics	31	+\$262	+\$304	10.8 x
	Vir Biotechnology	199	+\$86	+\$214	2.1 x
	PingAn Good Doctor	400	+\$90	+\$203	1.5 x
	OneConnect	100	-\$55	-\$37	0.6 x
	ZhongAn	550	-\$290	-\$286	0.5 x
(A)	上場銘柄 合計	\$9,587	+\$1,386	+\$4,355	
(B)	未上場銘柄+売却済銘柄 合計	\$70,871	+\$8,132		
(A)+(B)	SVF1 合計 (グロス)	\$80,458	+\$9,518		

増加額 **+\$3.0bn** (+3,253億円)

※ 円表記は1ドル = 109.56円(2019年12月30日TTM)で換算
 累計損益はグロス。倍率は累計リターン(グロス)を累計投資額で除して算出。
 累計投資額・各時点の累計損益・倍率の計算方法およびSBGに帰属するネットの投資成果(19年12月末時点)は、Appendixを参照。

2020年1月、株価が過去最高値を更新。高い流動性が継続



売買代金グローバルランキング

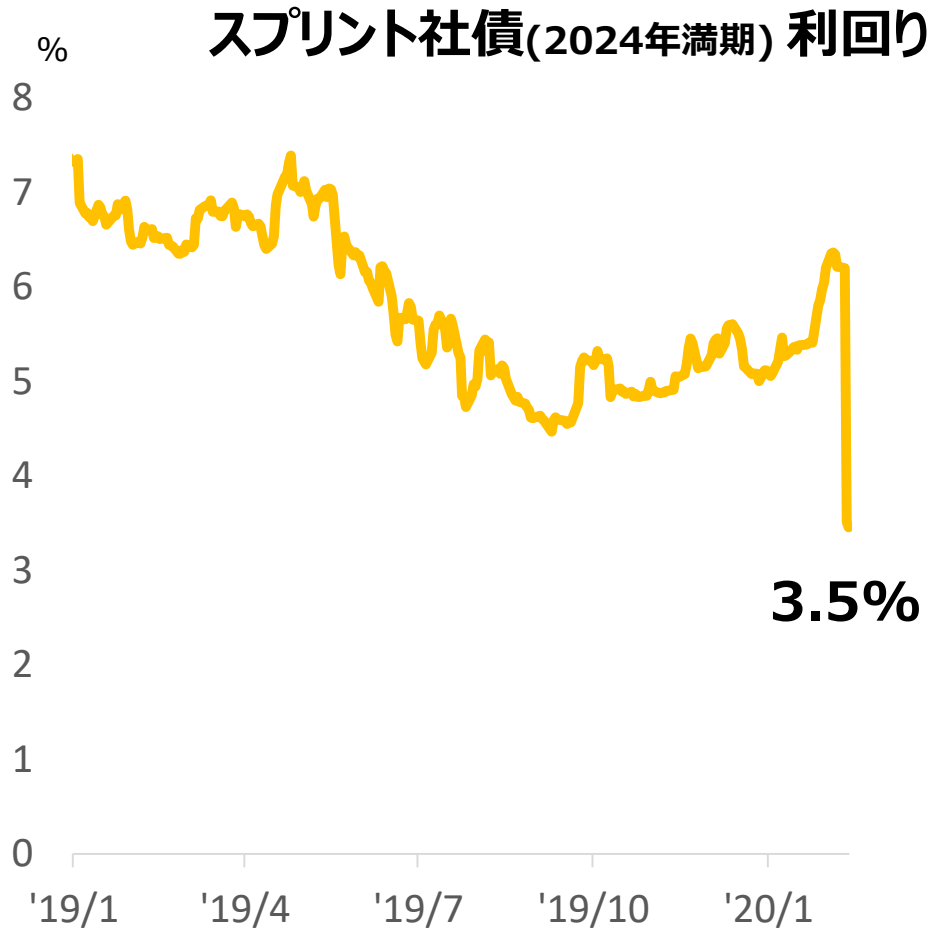
(\$, bn)

会社	3か月平均 売買代金 (/日)	時価総額
1 Apple	8.7	1,407
2 Tesla	8.4	139
3 Amazon	6.6	1,062
4 Microsoft	3.9	1,435
5 Alibaba	3.2	579
6 Facebook	2.9	607
7 AMD	2.4	61
8 Boeing	2.2	194
9 Netflix	2.2	163
10 Roku	2.1	16

※ 目標株価：Bloomberg市場コンセンサス（2020年2月11日時点）

出所：Bloomberg
※ 2月11日終値ベース。ETFを除く

スプリントとTモバイルとの合併について、合併差し止め訴訟に勝訴 合併手続きは最終段階へ

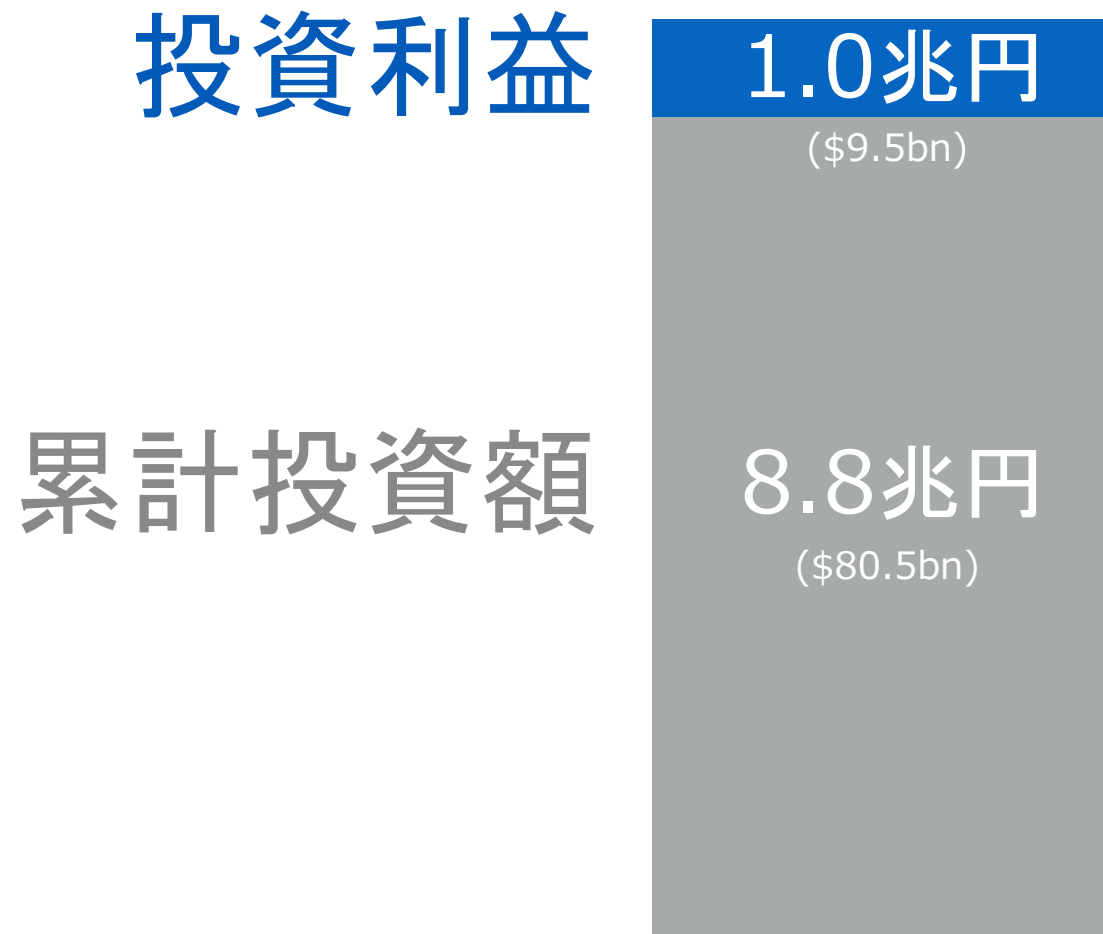


**上位 2 社に迫る顧客基盤を有する
通信会社へ**

**合併によって更に強固な
財務基盤を確立**

※1 2020年2月11日時点。2024年6月満期 7.125%スプリント無担保社債の最低利回り (Yield-to-worst)

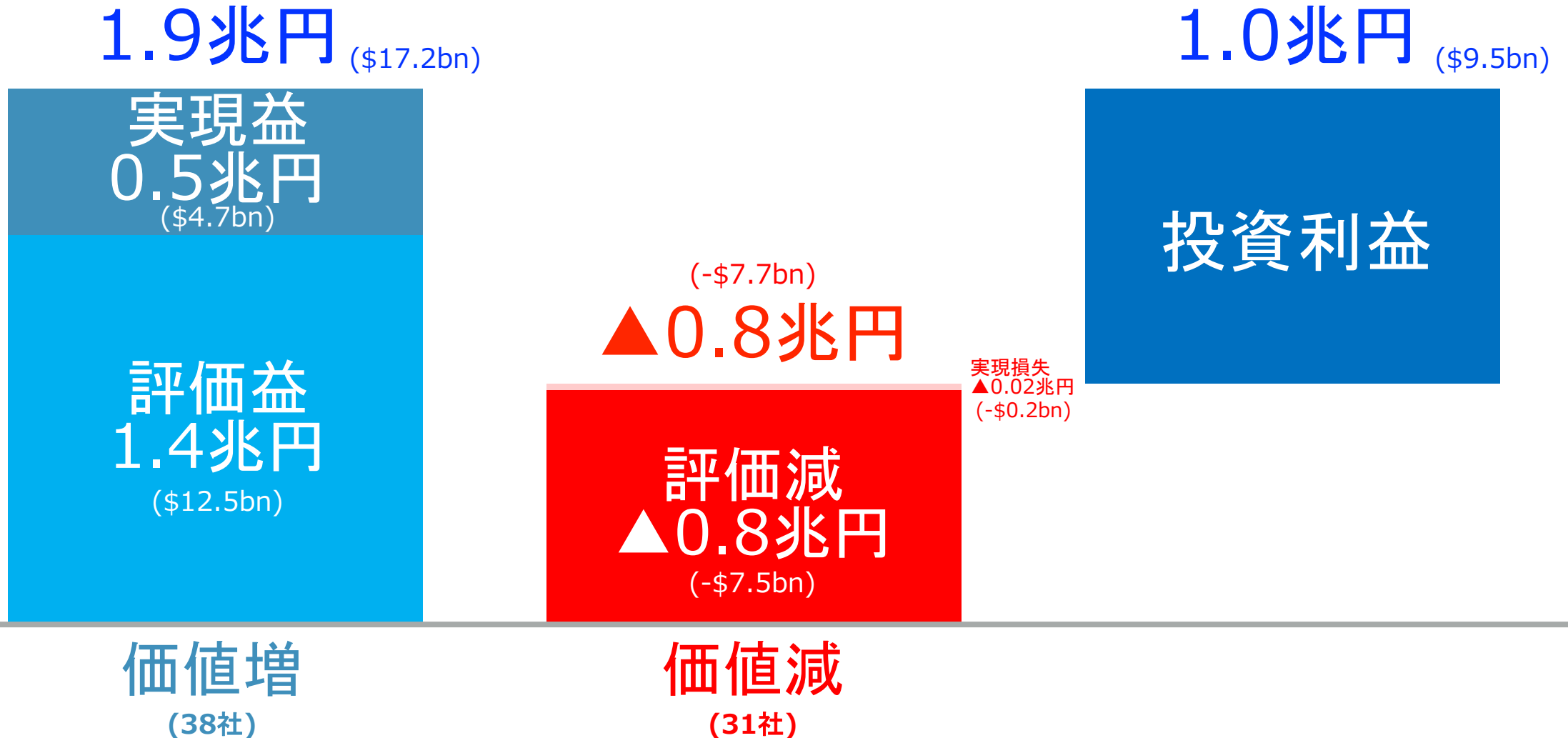
(2019年12月末)



累計投資額及び投資利益：売却済の投資(NVIDIA、Flipkart、Guardant Healthの一部等)を含む、SVF1開始以降の累計投資額および累計投資利益
投資利益：ヘッジ影響考慮後 税金・諸費用等考慮前 実現益含む、1ドル= 109.56円(2019年12月30日TTM)で換算

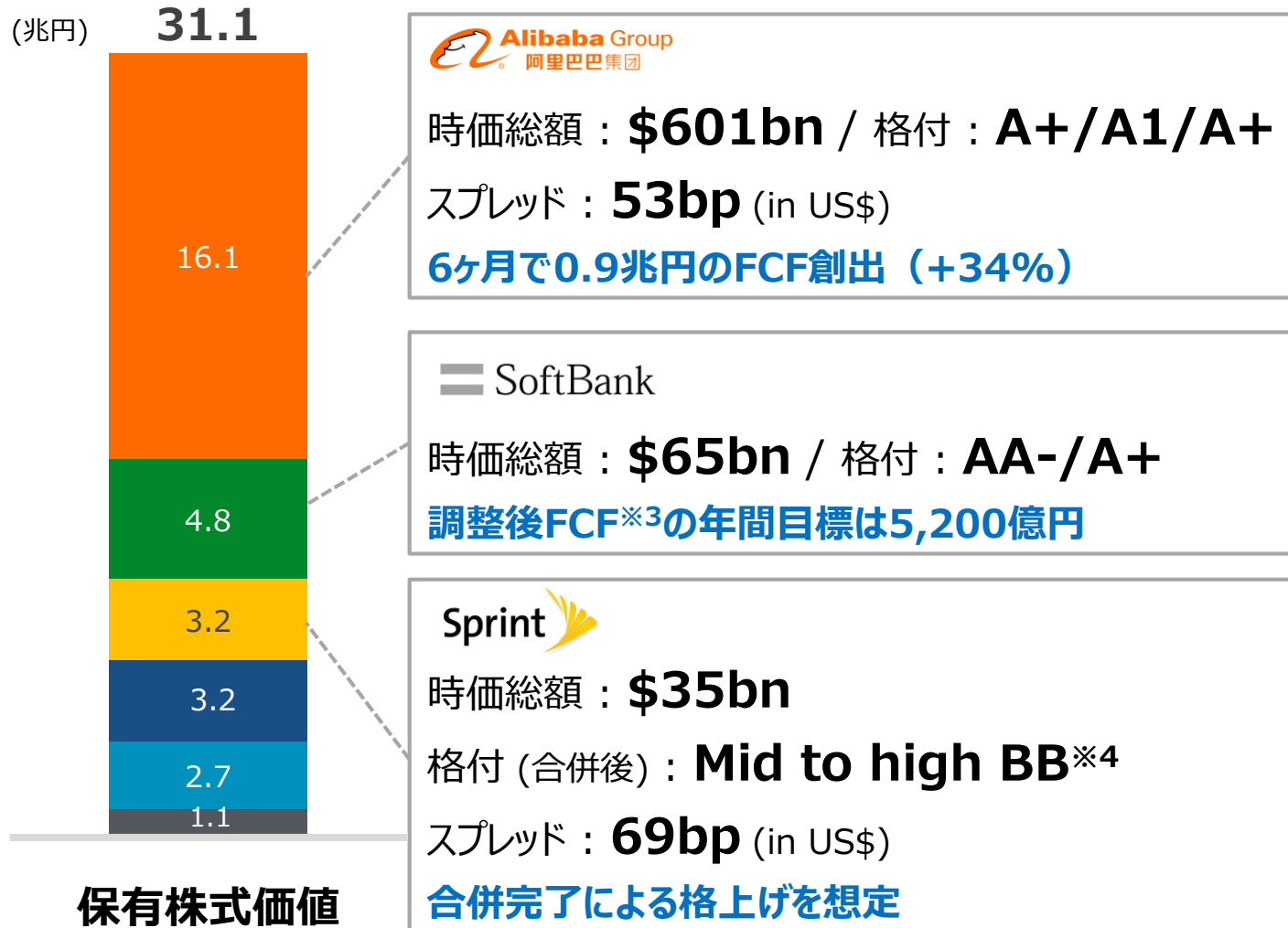
SVF1 累積投資成果

(2019年12月末)

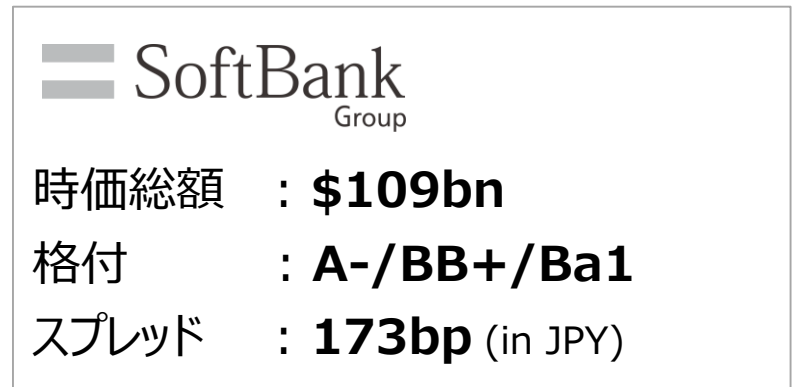


累計投資額及び投資利益：売却済の投資(NVIDIA、Flipkart、Guardant Healthの一部等)を含む、SVF1開始以降の累計投資額および累計投資利益
投資利益：ヘッジ影響考慮後 税金・諸費用等考慮前 実現益含む、1ドル= 109.56円(2019年12月30日TTM)で換算

投資先の信用力の高さはポートフォリオ価値の支えに



信用力の高い資産で構成



※1 各社の格付符号は次の通り。Alibaba:S&P/Moody's/Fitch、SBKK:JCR/R&I、SBG:JCR/S&P/Moody's
 ※2 市場データは2020年2月12日時点。各社のスプレッドは満期5年のクレジット・デフォルト・スワップ (CDS)のスプレッドを記載
 ※3 調整後FCF=FCF±ソフトバンクグループ(株)との一時的な取引+(割賦債権の流動化による調達額-同返済額)(ヤフー除く)
 ※4 Tモバイル及びスプリント開示資料に基づき当社作成。格付会社3社による合併後の新会社に対する会社格付

当初計画

金融機関からの支払保証枠への
クレジットサポート (US\$1.75bn)

WeWorkへの貸付枠の設定

無担保債券 (US\$2.2bn)

担保付シニア債券 (US\$1.1bn)

SBGによるWeWork株式の
公開買付 (最大US\$3.0bn)



進捗状況

サポート開始

(契約締結日: 2019年12月27日)

設定済 / ドローダウンなし

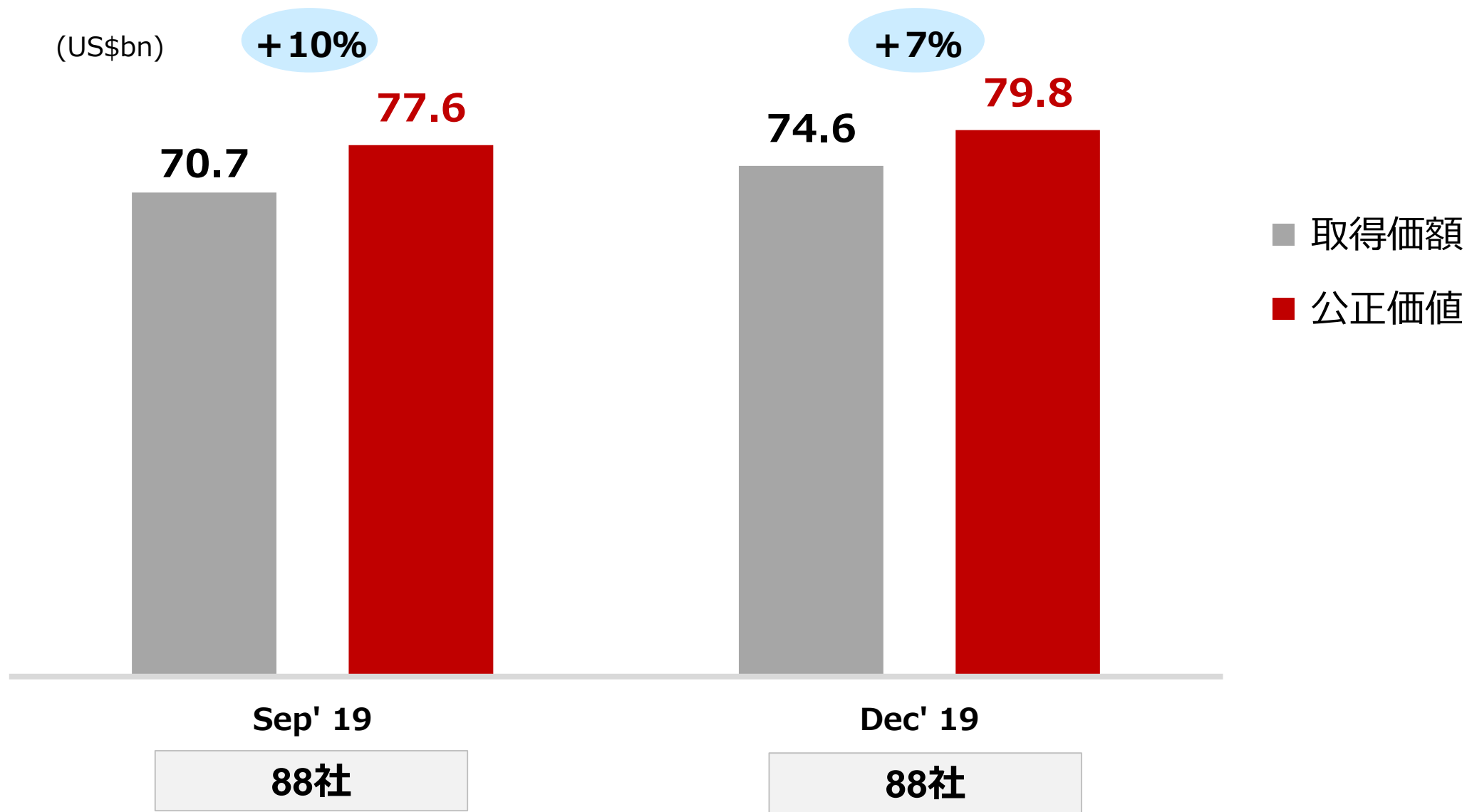
(契約締結日: 2019年12月27日)

未設定

開始

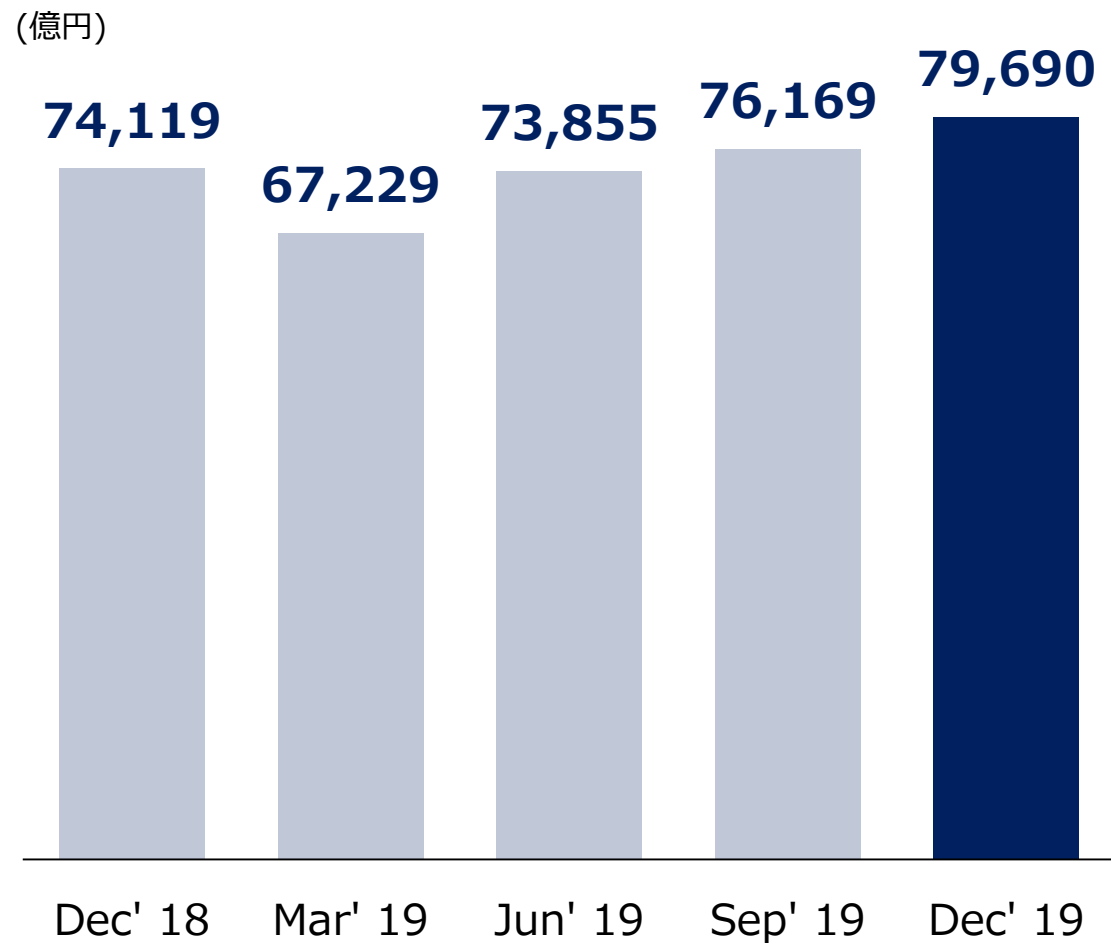
(買付期間: ~2020年4月1日)

SVF1: 投資資産の公正価値



※1 売却済みの投資を除く

将来の社債償還を見据えた前倒し調達を実施



2019年9月末からの主な変動要因

- 銀行ローン・CPの増減 (+398億円)
- Alibaba株カラー取引 (+1,966億円) ※株式先渡契約金融負債
- Alibaba株マージンローン (+\$570mn)

2019年12月末 内訳

(億円)

SBG 借入金

銀行ローン	13,826
ハイブリッドローン	831
その他	37
小計	14,694

SBG 社債・CP

国内シニア債	24,500
国内劣後債/ハイブリッド債	13,091
外債	12,936
CP	1,840
小計	52,367

子会社 有利子負債

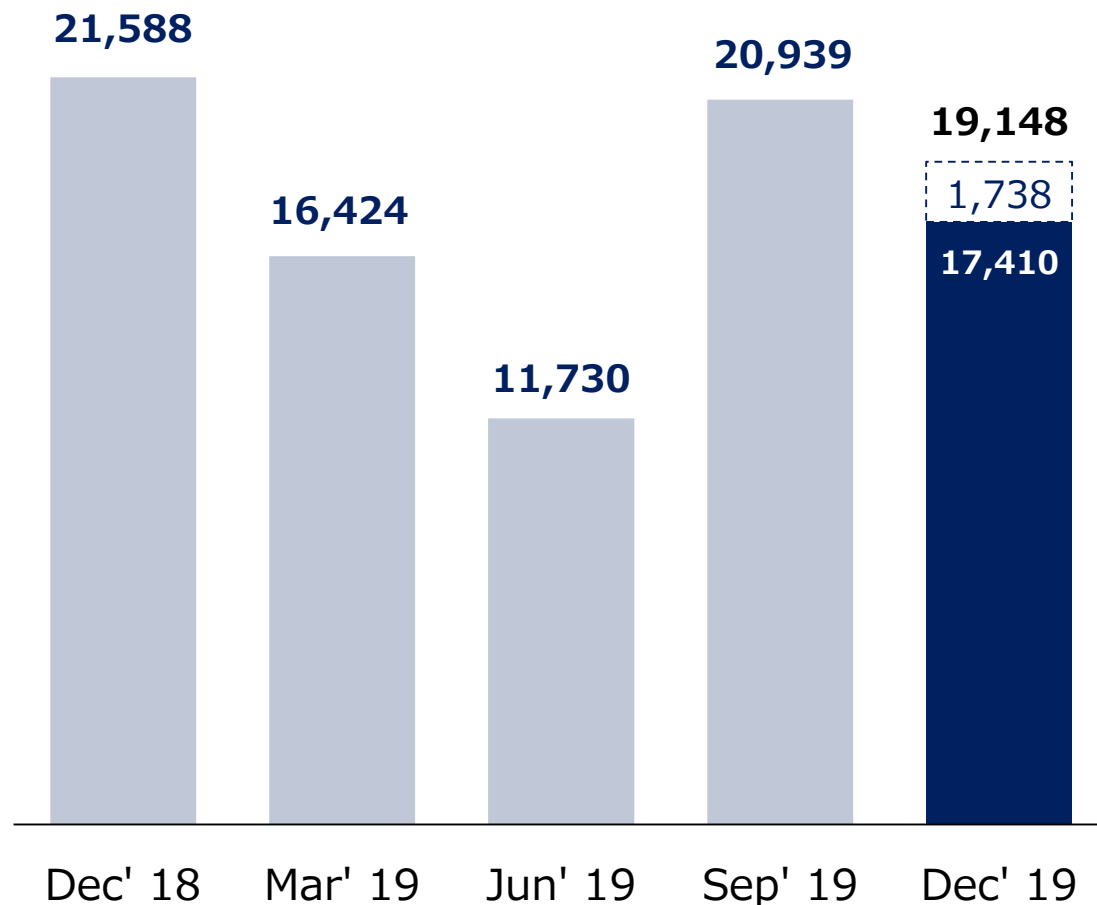
マージンローン (SBGにノンリコース)	10,310
株式先渡契約金融負債	1,966
その他	352
小計	12,628

合計 79,690

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

SVF1キャピタルコール・新規投資などで減少

(億円)



SVF1への資産売却手取金 (+\$1.6bn) ※未決済

2019年9月末からの主な変動要因

増加	減少
借入金/CP調達(Net) (+398億円)	WeWorkワラント行使 (-\$1.5bn)
アセットバックファイナンス調達 (+2,416億円)	SVF1キャピタルコール (-\$1.2bn)
	SVF2に関連する投資 (-\$1.7bn) ^{※2}
	その他投資 (-1,120億円)

※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。コミットメントライン未使用枠およびSVF1への資産売却手取金を含む

※2 「ソフトバンク・ビジョン・ファンド2」(予定) による初期段階の投資として取り扱われる予定の投資を保有する予定の投資ピークルが\$1.7bnの投資を実行

少なくとも2年分の社債償還資金を保持する方針 前倒しでのリファイナンスを着実に実行中

(億円)

手元流動性
1.9兆円※1

SVF1への資産売却手取金

1,738

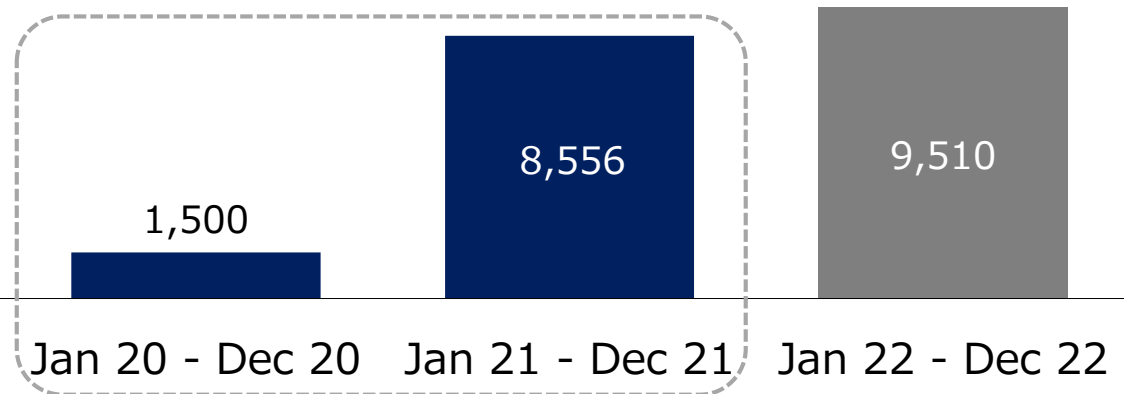
17,410

Dec 19

手元資金に加え、様々な調達手段を確保

- ・ リファイナンス
- ・ 資産売却・ノンリコースアセットバックファイナンス

今後2年間の社債償還



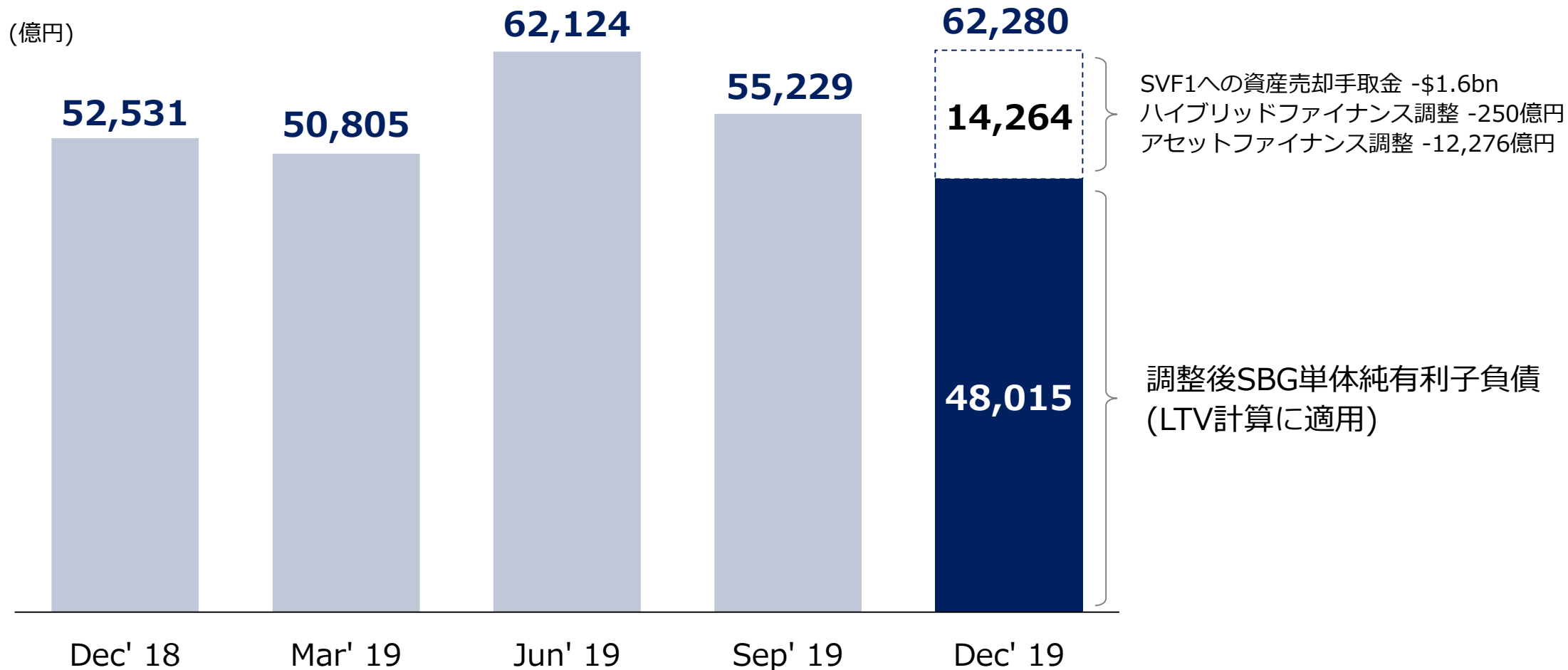
社債償還スケジュール

※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。SBG単体ベース。コミットメントライン未使用枠およびSVF1への資産売却手取金を含む

※2 2019年12月31日時点のコミットメントラインの未使用枠はゼロ

主に手元流動性の変動により増加

アセットファイナンス除く
 ※2019年12月末時点のみ

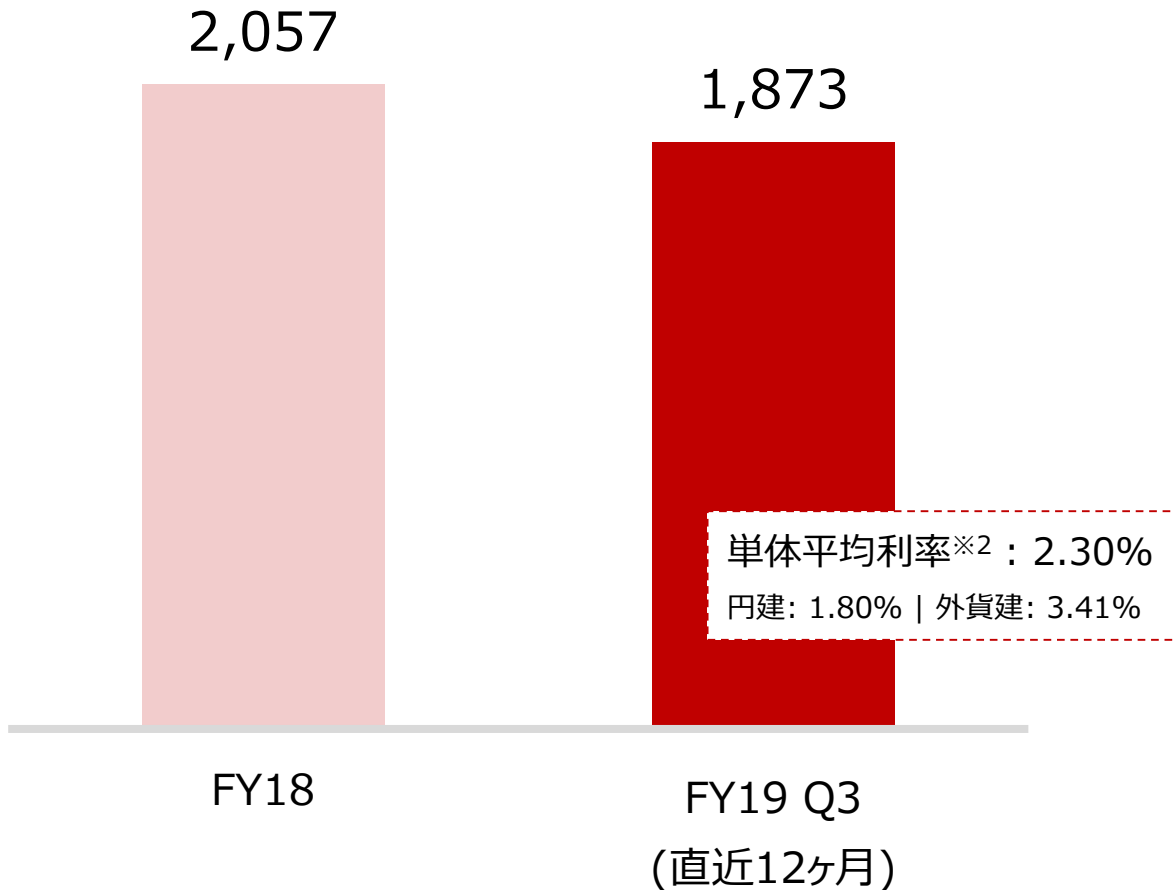


※ 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

支払利息 (単体※1)

現金収入と手元流動性の両面から十分にカバー

(億円)



・ 子会社からの配当収入

2,705億円※3

・ SVF1からの分配金※4

FY18 \$1.6bn

FY19 \$0.4bn

・ 資産売却

・ アセットバックファイナンス

・ 手元流動性

1.7兆円 (2019年12月末)

※1 単体 = SBGおよびスカイワークファイナンス合同会社。支払利息 (IFRS基準。一時費用を含むCFベース) は資本に含まれるハイブリッド債の支払利息を含まない

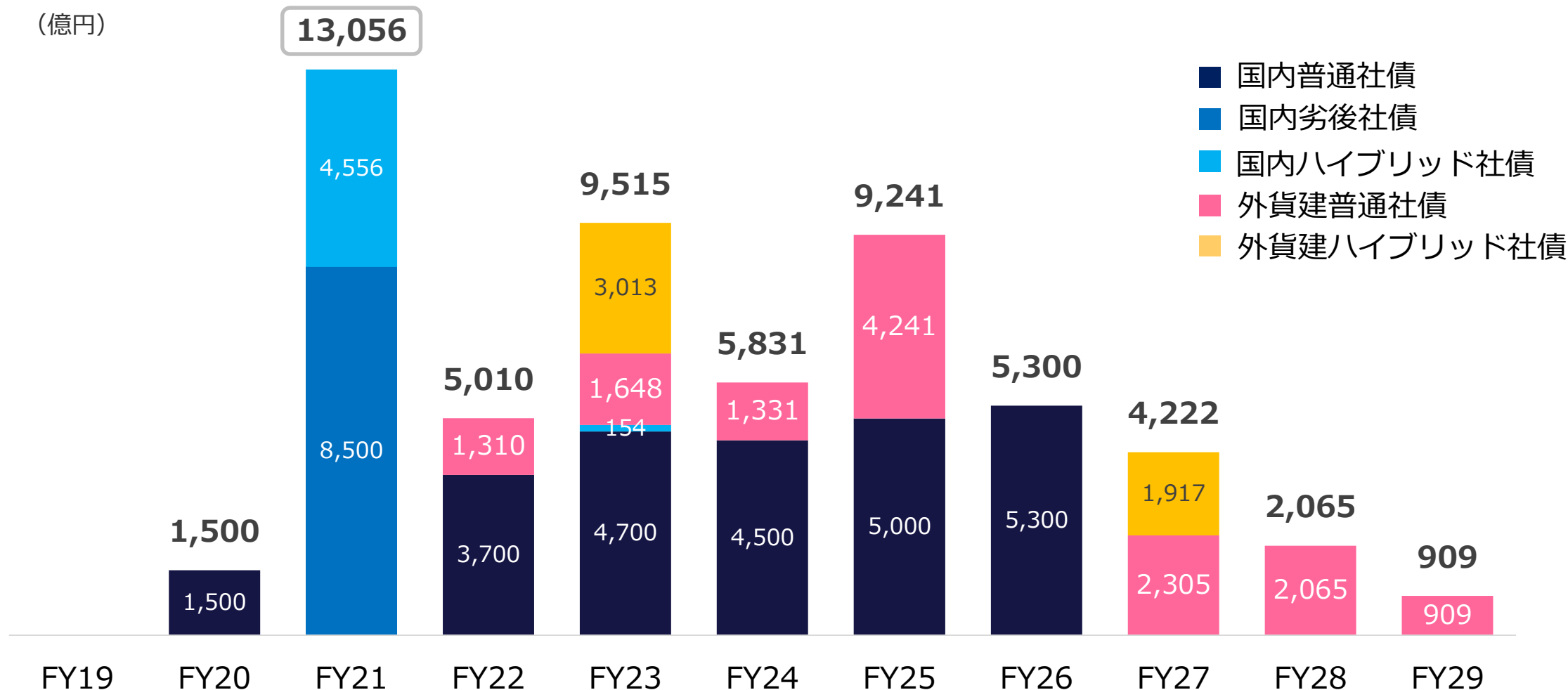
※2 単体平均利率は、単体 (= SBGおよびスカイワークファイナンス合同会社) における2019年12月末時点の残存債務の元本と利率から加重平均で算出 (通貨スワップを締結している外債については、スワップ後の円換算レートを適用)

※3 SBKK配当を1株当たり85円 (会社予想) で算出

※4 SBGがSVF1より受領した成果分配、管理報酬および成果報酬としてSVF1/デルタファンドからSBIAに支払われた現金総額の合計

リファイナンスを中心に多様な返済オプションを検討

(億円)



※1 2019年12月末時点発行残高

※2 ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース

※3 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=109.56円にて換算

※4 バイバックにより取得した自己保有社債は除く

1. 通常時 LTV25%未満で運用（異常時でも上限35%）

2. 少なくとも2年分の社債償還資金を保持

3. SVFや子会社から継続的な配当収入を確保

投資先の財務は
独立採算

救済投資は
行わない

Appendix

- 投資会社としての財務安定性と機動性を両立
- あらゆる環境変化に耐える財務管理

1. 投資資産価値と負債のバランス維持

- LTV運営基準=25%未満(上限35%)
- 機動的な投資回収・新規投資・債務返済

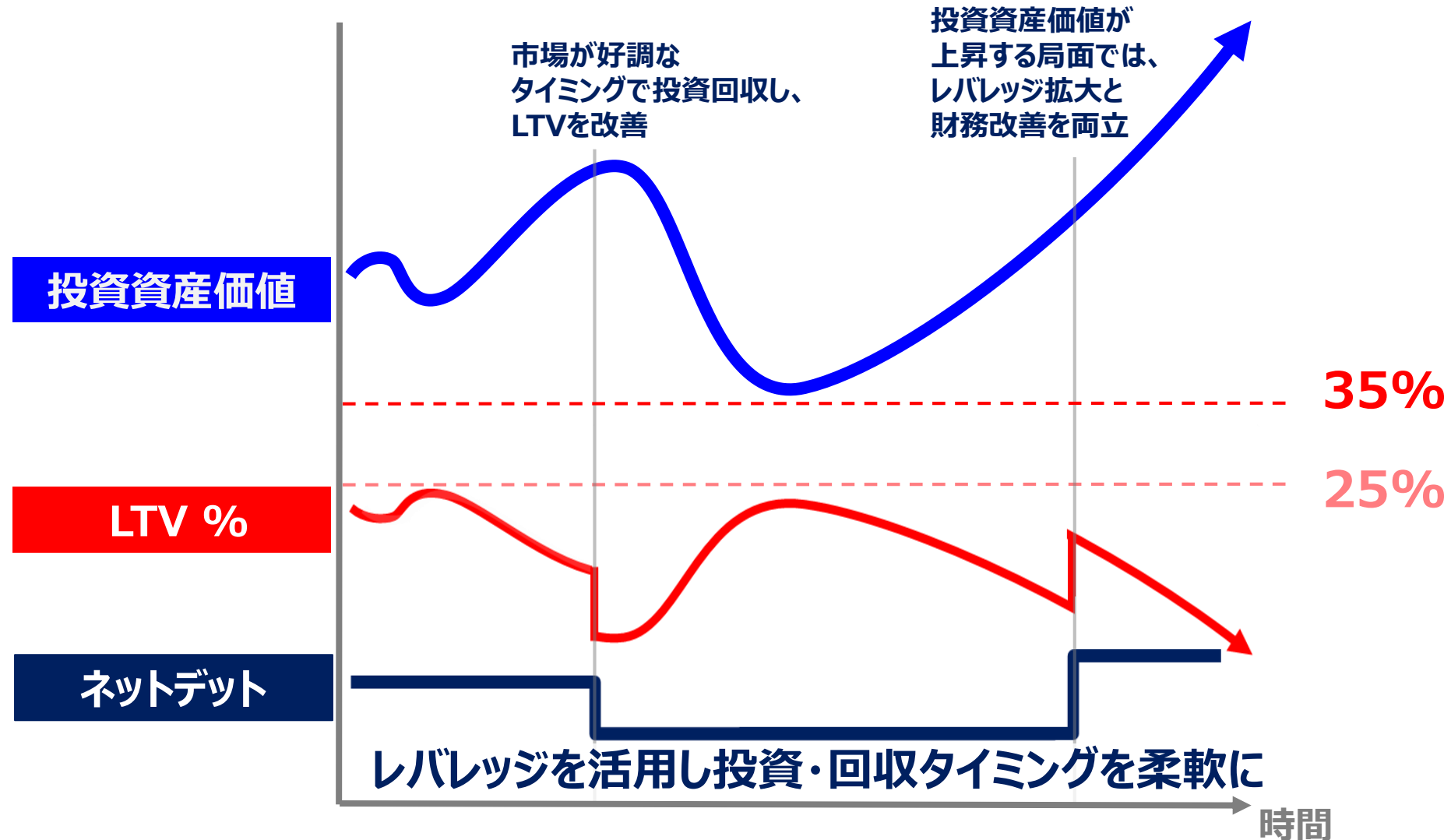
2. 返済手段の多様性を常に確保

- 少なくとも2年分の社債償還資金に相当する手元流動性を維持
- 社債投資家・金融機関との強固な関係を構築

3. 市場との対話重視

- デット・エクイティ投資家双方の理解を得る最適レバレッジの追求
- 投資持株会社の格付規準のもと、格付けの向上を目指す

LTV管理により最適レバレッジを維持し企業価値最大化 LTVは投資資産価値に連動し長期的に改善へ



$$\frac{\text{(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債 } 4.80 \text{兆円}}{\text{(V) SBG単体 保有株式価値 } 29.85 \text{兆円}} = 16.1\%$$

(兆円)

調整後SBG単体 純有利子負債	=	連結 純有利子負債	-	独立採算子会社 純有利子負債	-	その他調整
4.80		15.70		9.47		1.43

ソフトバンク事業	+4.45
スプリント事業	+4.55
アーム事業	▲0.11
SVF事業	+0.58
その他	+0.00

SVF1への資産売却による資金回収 ^{※2}	0.17
ハイブリッドファイナンス調整 ^{※3}	0.02
アセットファイナンス調整 ^{※4}	1.23

※1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ

※2 純有利子負債は以下の影響の見込額を考慮

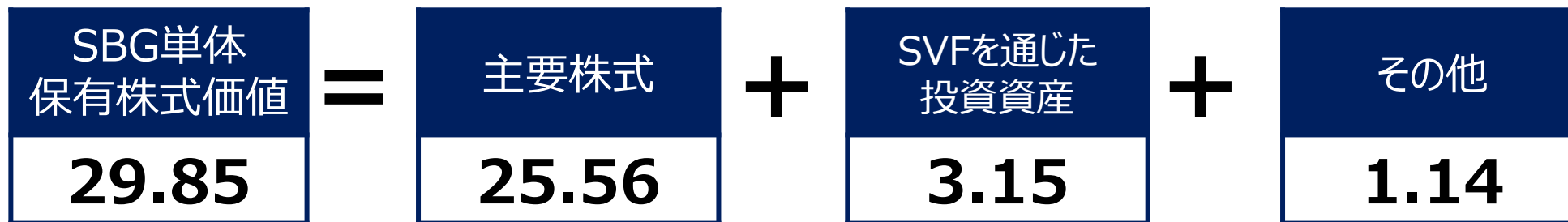
a) 2019年12月末時点で完了済みのSBGからSVF1への資産移管による資金回収及びキャピタルコールの支払い

※3 17年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。16年9月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、50%を有利子負債から除外

※4 アリババ株マージンローン負債残高相当額(1兆310億円)及びカラー取引における株式先渡契約金融負債(1,966億円)の合計

$$\frac{(L) \text{ 調整後 SBG単体 純有利子負債 } 4.80 \text{兆円}}{(V) \text{ SBG単体 保有株式価値 } 29.85 \text{兆円}} = 16.1\%$$

(兆円)



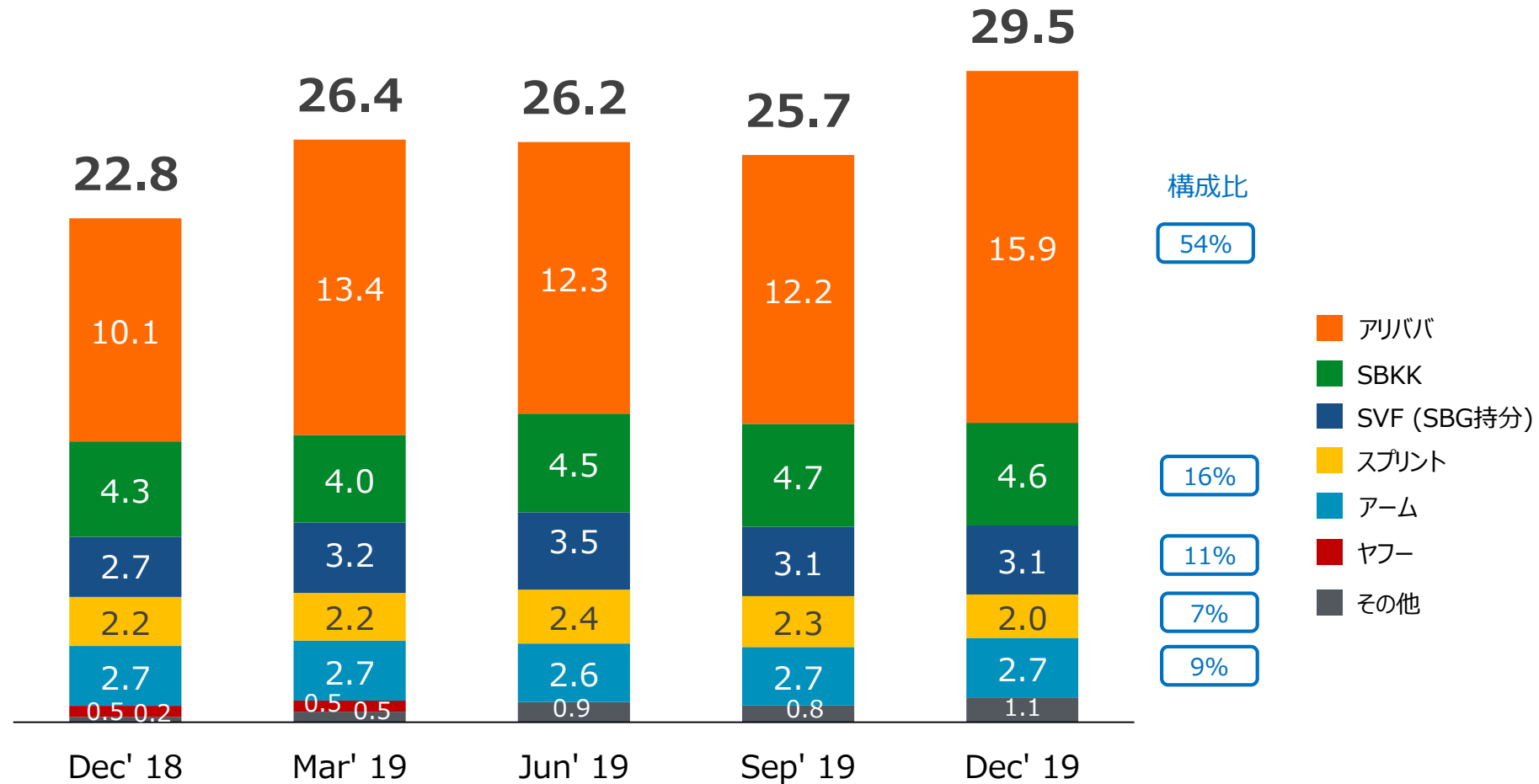
アリババ	16.08	SBKK	4.79
アセットファイナンス	▲1.23	スプリント	3.23
アリババ (調整後)	14.85	アーム	2.70

※ 上場株価および為替レートは、2020年2月12日時点 (米国市場は2020年2月11日時点)

- アリババ: SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出。同社株式を活用するアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除。マージンローンは負債残高相当額(1兆310億円)、カラート取引は2020年2月11日時点の同社株価に基づき算出された満期決済金額(2,032億円)を控除
- SBKKおよびスプリント: SBGの各社保有株式数に各社株価を乗じて算出
- アーム: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + ジェネラル・パートナーとして当社が受け取る予定の成功報酬の見込金額等
- その他: 主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

前年同期比6.7兆円増加

(兆円)



※ 株価および為替レートは、各四半期の東証最終取引日ベース
 - アリババ: SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出
 - SBKKおよびスプリント: SBGの各社保有株式数に各社の株価を乗じて算出
 - アーム: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
 - SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + ジェネラル・パートナーとして当社が受け取る予定の成功報酬の見込金額等
 - その他: 主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

SVF1 上場銘柄 (2019年12月末時点)

(\$ mil)	会社名	(a) 累計投資額	(b) 累計リターン* ⁵ (グロス)	(c) = (b) - (a) 累計損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率* ⁷
	Guardant Health* ¹	308	2,171	+\$1,863	7.1 x
	Slack	334	823	+\$489	2.5 x
	10x Genomics	31	293	+\$262	9.4 x
	PingAn Good Doctor	400* ²	490* ⁶	+\$90	1.2 x
	Vir Biotechnology	199	284	+\$86	1.4 x
	OneConnect	100	45	-\$55	0.4 x
	ZhongAn* ⁴	550* ³	259* ⁶	-\$290	0.5 x
	Uber	7,666	6,609	-\$1,057	0.9 x
(A)	上場銘柄 合計*⁸	\$9,587	\$10,974	+\$1,386	
(B)	未上場銘柄+売却済銘柄 合計*⁹	\$70,871	\$79,003	+\$8,132	
(A)+(B)	SVF1 合計(グロス)	\$80,458	\$89,977	+\$9,518	

1. Guardant Health : 累計投資額 = 売却済の株式の取得コストを含む。累計リターン = 2019年9月11日に77ドル/株で売却した4,900,000株分を含む。

2. PingAn 累計投資額 : PingAnへの投資実行日(2017年12月29日)時点の為替レート、1ドル = 7.8175香港ドルにて換算。

3. ZhongAn 累計投資額 : ZhongAnへの投資実行日(2017年9月22日)時点の為替レート、1ドル = 7.808香港ドルにて換算。

4. OneConnect : 米国預託株式(American Depository Shares : ADS)にてニューヨーク証券取引所に上場。SVF1は普通株式13,333,334株(ADS 4,444,444.33株相当)を保有。

5. 累計リターン = 売却前の投資先の公正価値 + 売却済の投資先の売却価額。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

6. ZhongAn及びPingAnの累計リターン : 2019年12月30日時点の為替レート、1ドル = 7.7912香港ドルにて換算。

7. 倍率 : Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。累計リターンを累計投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

8. 未上場銘柄+売却済銘柄 合計 : 累計投資額、累計リターン、累計損益ともに全持分を精算済の投資(NVIDIA、Flipkart等)を含む。NVIDIAは2019年1月、Flipkartは2018年8月にそれぞれ精算済み。ヘッジ影響を考慮。

9. SBGに帰属するネットの投資成果は、Appendix「SVF1 投資成果(2019年12月末時点)」を参照。

SVF1 投資成果 (2019年12月末時点)

(\$ bn)		(a) 累計投資額*2	(b) 累計リターン*1 (グロス)	(c) = (b) - (a) 累計損益 (グロス)
(A)	上場銘柄 合計	\$9.6	\$11.0	+\$1.4
(B)	未上場銘柄+売却済銘柄 合計	\$70.9	\$79.0	+\$8.1
(A)+(B)	SVF1 合計(グロス)	\$80.5	\$90.0	+\$9.5

		(d) 累計支払額	(e) 価値合計
	SBG 合計 (ネット)	\$22.9	\$25.6
(内訳)	SVF1の純資産価値におけるSBGの持分		\$23.5
	SBGへ分配済の金額*3		\$1.7
	SBGが受け取る成功報酬*4		\$0.4

1. 累計リターン = 売却前の投資先の公正価値 + 売却済の投資先の売却価額。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。ヘッジ影響を考慮。諸費用等考慮前。

2. 累計投資額：SVF1開始から2019年12月31日までの累計投資額。全持分を精算済みの投資（NVIDIA、Flipkart等）を含む。NVIDIAは2019年1月、Flipkartは2018年8月にそれぞれ精算済み。ヘッジ影響を考慮。

3. SBGへ分配済の金額：SVF1開始時から2019年12月31日までに分配済の金額。

4. SBGが受け取る成功報酬：実現済の成功報酬+未払いの成功報酬。未払いの成功報酬は、2019年12月31日時点で未実現。

SVF1 上場銘柄 (2020年2月11日時点)

(\$ mil)	会社名	(a) 累計投資額	(b) 累計リターン* ⁸ (グロス)	(c) = (b) - (a) 累計損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率* ⁹
	Guardant Health* ¹	308	2,183	+\$1,875	7.1 x
	Uber	7,666	9,171	+\$1,505	1.2 x
	Slack* ²	334	912	+\$578	2.7 x
	10x Genomics	31	335	+\$304	10.8 x
	Vir Biotechnology	199	413	+\$214	2.1 x
	PingAn Good Doctor	400* ³	603* ⁴	+\$203	1.5 x
	OneConnect* ⁷	100	63	-\$37	0.6 x
	ZhongAn	550* ⁵	264* ⁶	-\$286	0.5 x
	上場銘柄 合計(グロス)	\$9,587	\$13,943	+\$4,355	

1. Guardant Health : 累計投資額 = 売却済の株式の取得コストを含む。累計リターン = 2019年9月11日に77ドル/株で売却した4,900,000株分を含む。

2. Slack : 累計投資額 = 売却済の株式の取得コストを含む。累計リターン = 2020年1月13日に22.40ドル/株で売却した11,000,000株分を含む。

3. PingAn 累計投資額 : PingAnへの投資実行日 (2017年12月29日) 時点の為替レート、1ドル = 7.8175香港ドルにて換算。売却済の株式の取得コストを含む。

4. PingAn 累計リターン : 2020年1月13日に53.55香港ドル/株にて売却した20,000,000株分を含む。売却済の株式の売却価額 = 2020年1月13日時点の為替レート、1ドル = 7.7698香港ドルにて換算。売却前の株式の公正価値 = 2020年2月11日時点の為替レート、1ドル = 7.7656香港ドルにて換算。

5. ZhongAn 累計投資額 : ZhongAnへの投資実行日 (2017年9月22日) 時点の為替レート、1ドル = 7.808香港ドルにて換算。

6. ZhongAn 累計リターン : 2020年2月11日時点の為替レート、1ドル = 7.7656香港ドルにて換算。

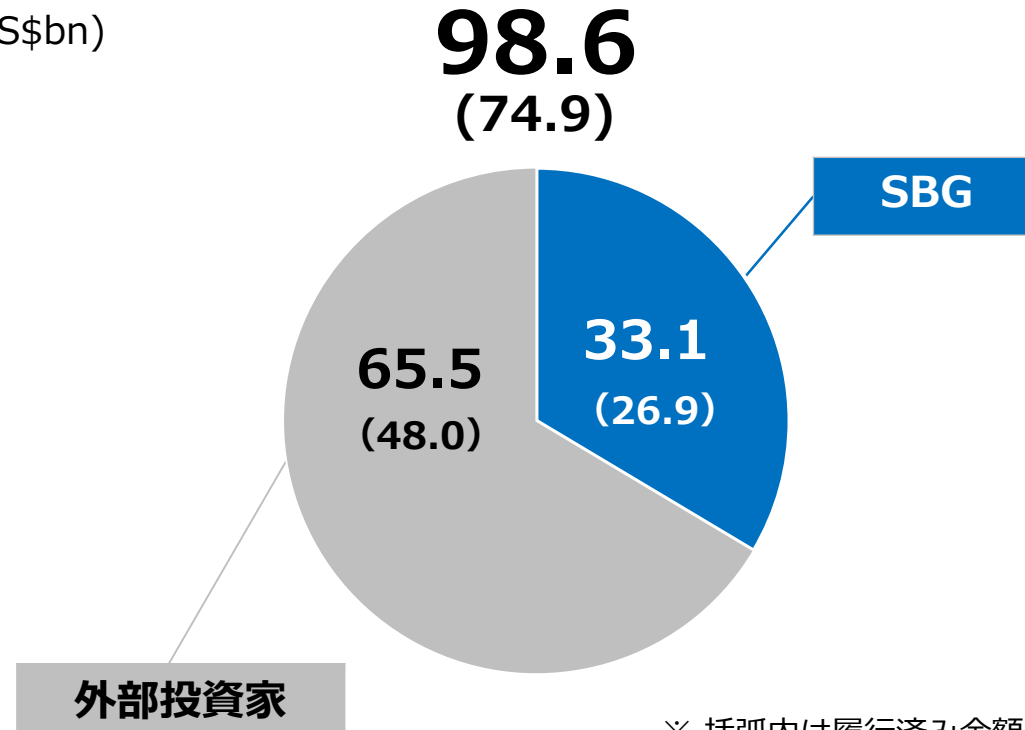
7. OneConnect : 米国預託株式 (American Depository Shares : ADS) にてニューヨーク証券取引所に上場。SVF1 は普通株式13,333,334株 (ADS 4,444,444.33株相当) を保有。

8. 累計リターン = 売却前の投資先の公正価値 + 売却済の投資先の売却価額。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

9. 倍率 : Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。累計リターンを累計投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

出資コミットメント (2019年12月末)

(US\$bn)

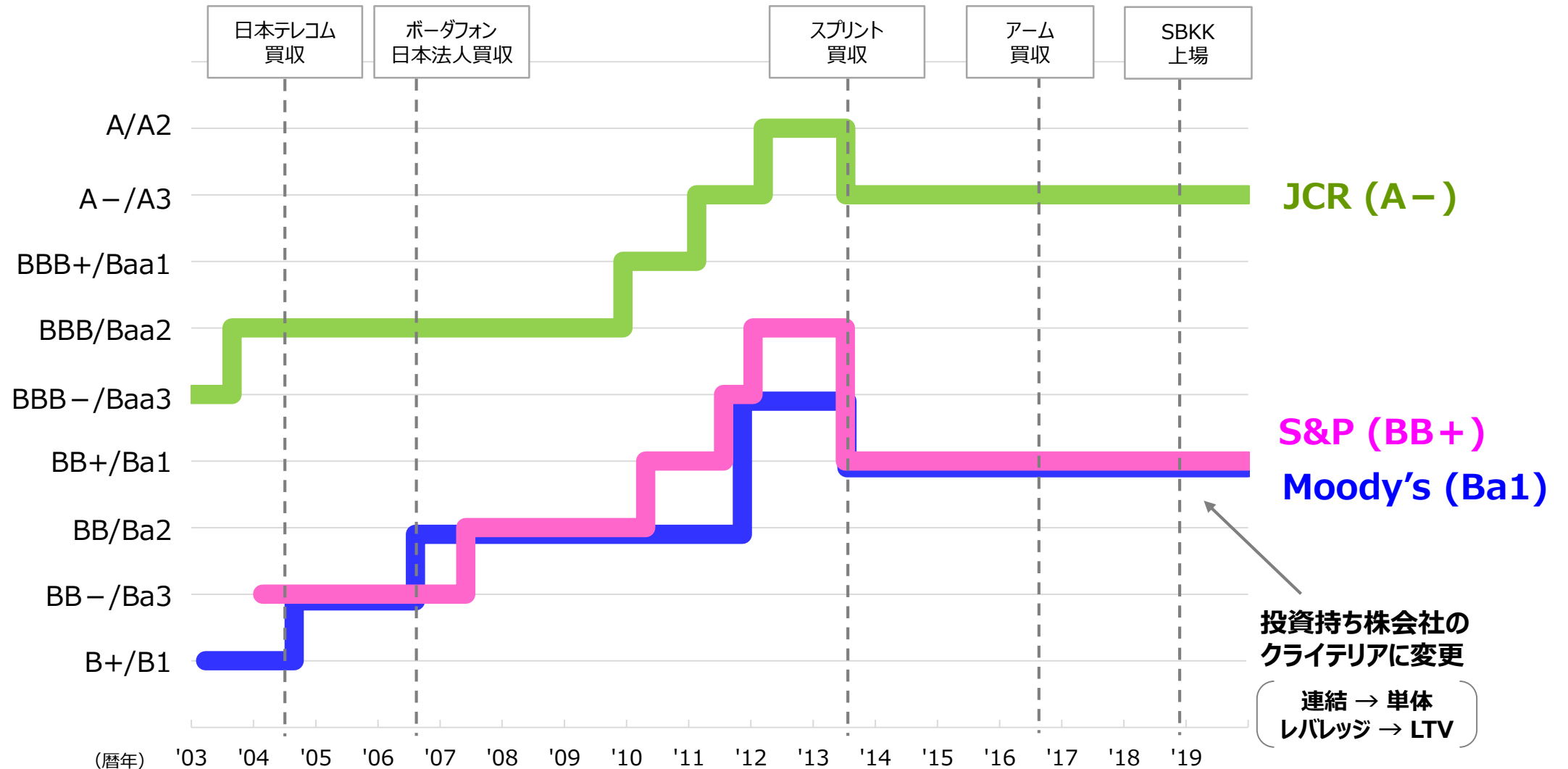


※ 括弧内は履行済み金額

※1 SVF1へのSBGの出資コミットメントは、Arm Limited株式を活用した約82億米ドル相当の支払義務履行分（前期末までに全該当株式を抛済済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の50億米ドルを含む

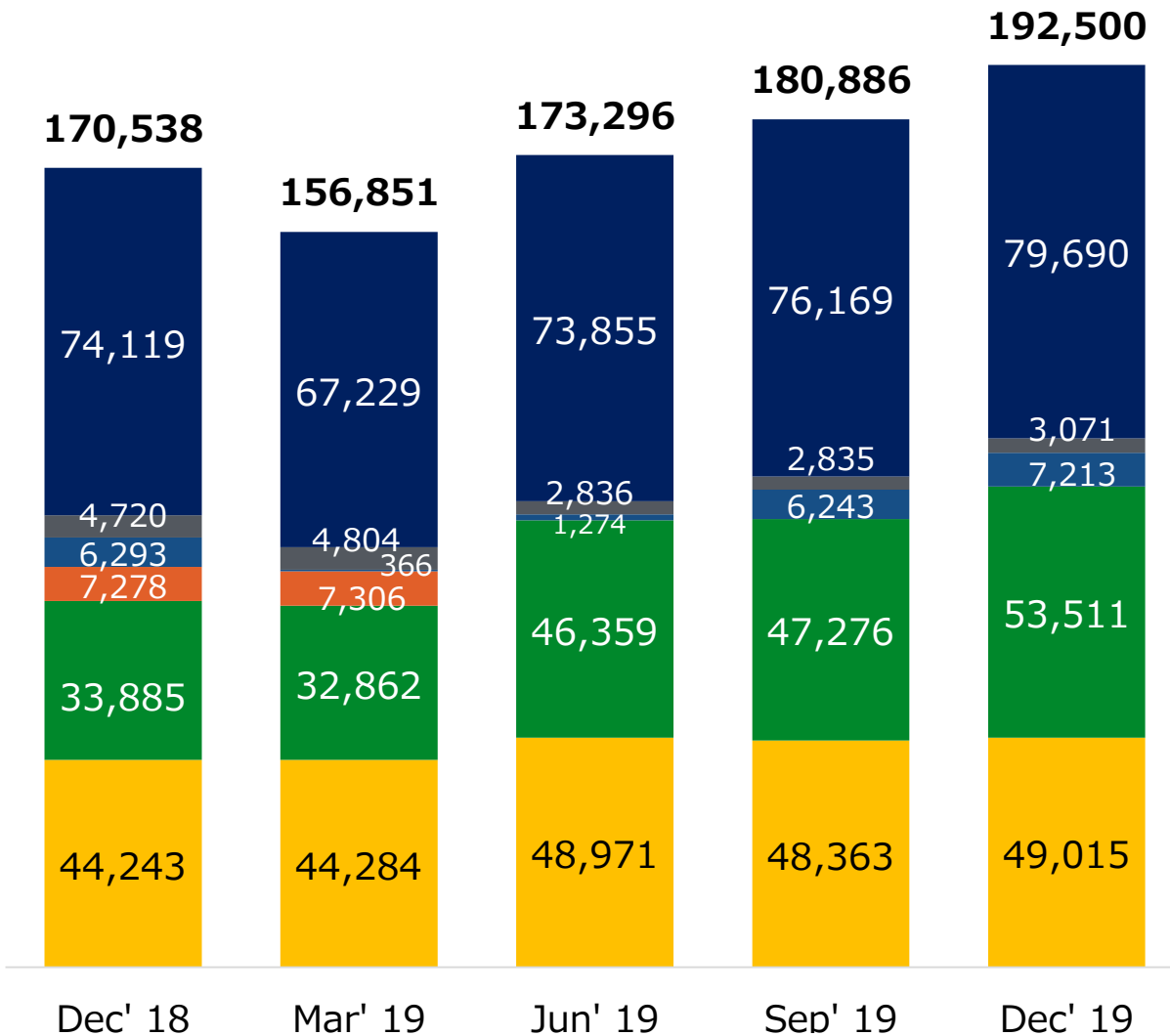
※2 当第2四半期において、DiDiへの投資についてデルタ・ファンドからSVF1への売却が決済され、デルタ・ファンドは当該売却収入を同ファンドのリミテッド・パートナーに分配し、支払義務履行額の返還を行った。これに伴い、デルタ・ファンドにおける外部投資家の出資コミットメント16億米ドルはSVF1の出資コミットメントとして返上された

投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



連結有利子負債

(億円)



有利子負債+リース負債

- SBG
- その他 (アーム等)
- SVF
- 株式先渡契約金融負債※2 (アリババ)
- ソフトバンク事業※3
- スプリント事業

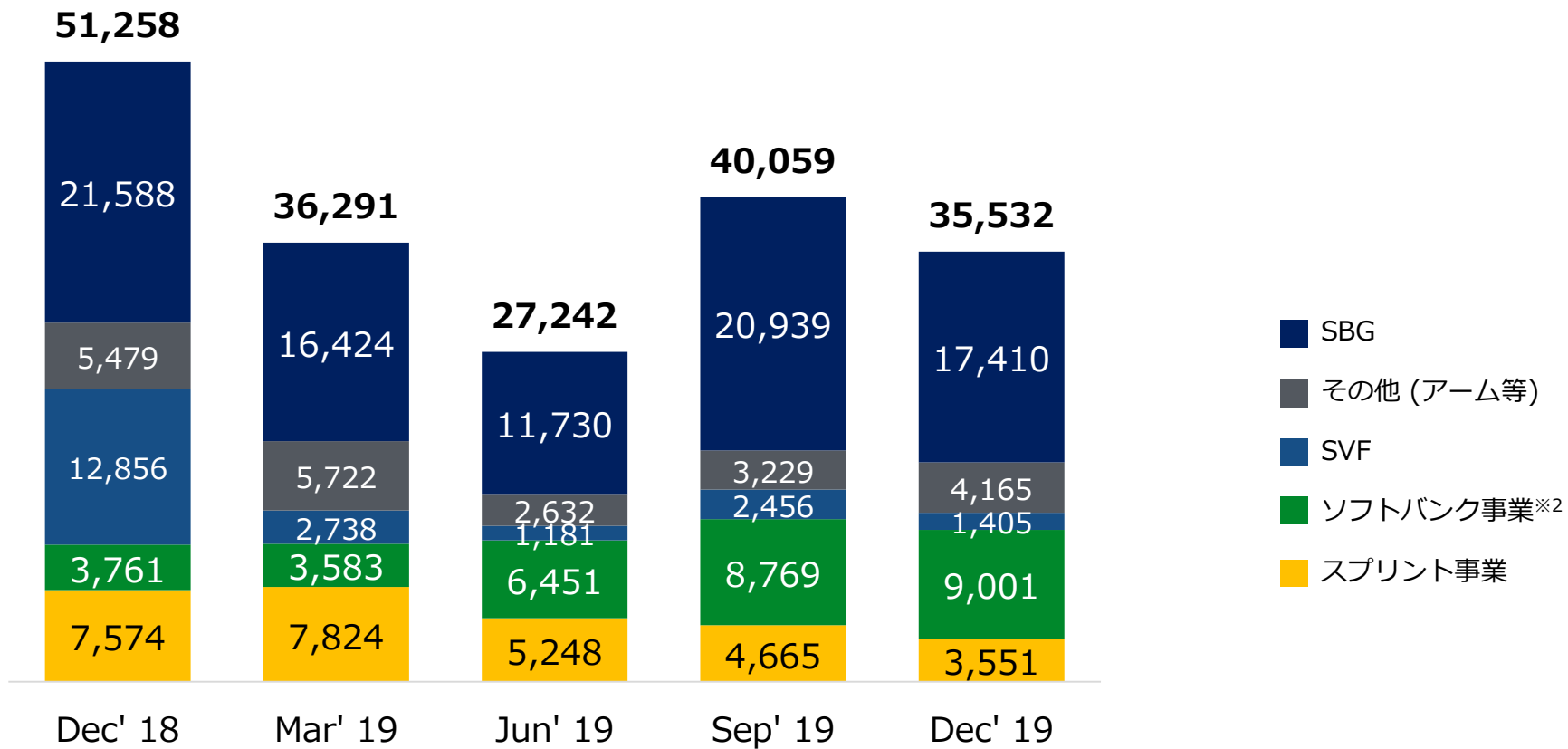
ソフトバンク事業	53,511
SBKK有利子負債	
銀行ローン	20,570
割賦債権流動化	10,324
リース負債等	10,205
子会社有利子負債	12,411

スプリント事業	49,015
借入金	16,677
社債	24,166
その他	8,172

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。ジャパンネット銀行の銀行業の預金は含まない
 ※2 2019年12月期から計上しているAlibaba株カラー取引に関する株式先渡契約金融負債(1,966億円)は含まない (SBGの有利子負債に算入)
 ※3 2019年6月期から「ソフトバンク事業」は旧「ヤフー事業」を含む
 ※4 2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上

連結手元流動性

(億円)



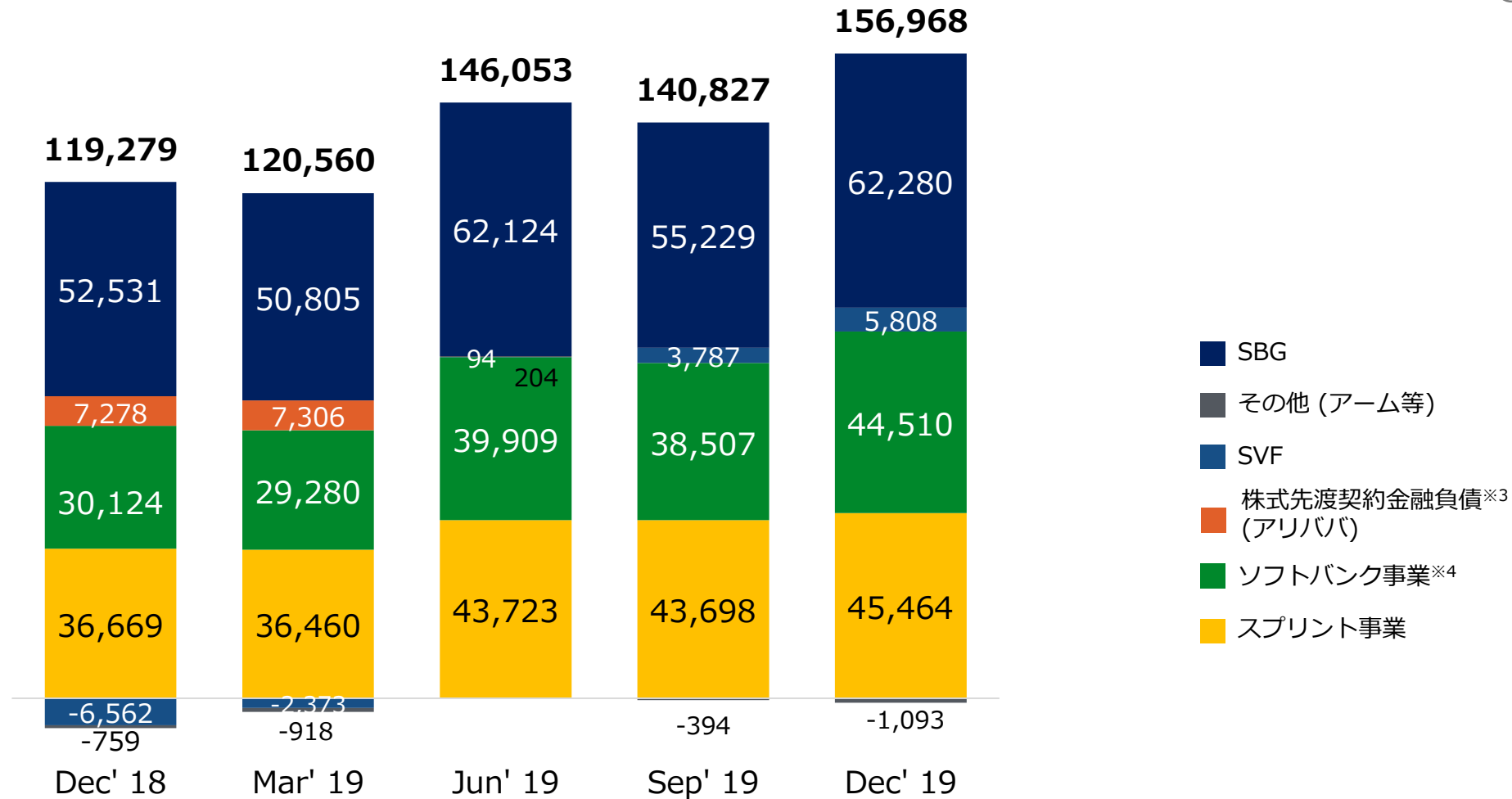
※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。ジャパンネット銀行の手元流動性は含まない

※2 2019年6月期から「ソフトバンク事業」は旧「ヤフー事業」を含む

連結純有利子負債

(億円)

有利子負債+リース負債
- 手元流動性



※1 ジャパンネット銀行の(銀行業の預金-手元流動性)は含まない
 ※2 マイナス表記はネットキャッシュ
 ※3 2019年12月期から計上しているAlibaba株カラー取引に関する株式先渡契約金融負債(1,966億円)は含まない (SBGの有利子負債に算入)
 ※4 2019年6月期から「ソフトバンク事業」は旧「ヤフー事業」を含む
 ※5 2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上